

令和7年度入学料免除及び徴収猶予申請の注意事項（大学院博士後期課程留学生）

本学では、博士後期課程学生に対し、経済状況及び学業成績による入学料免除の他に本学独自の入学料免除を実施しております。免除については、経済状況及び学業成績を一律の基準で審査し、基準を満たしている者が選考の対象となります。経済状況は本人からの申請に基づき審査を行いますが、申請者ごとの不均衡が生じないように各種の公的な証明書が必要となります。

なお、書類の不備や記載漏れ等がある場合には申請を受理しません。また、事実と反する記載があった場合には、免除となった後でもその決定を取り消すことがありますので注意してください。

I 免除及び徴収猶予の選考対象

【経済状況及び学業成績による入学料免除】

次のア〜ウに該当する特別な事情により、入学料の納入が著しく困難であると認められる者

ア 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者

イ 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

ウ 入学する者が生活保護世帯に属し、又は学資負担者が重度の病気で長期療養中である等相当と認められる場合

*** 東日本大震災等で被災した方については別途対応しますので、該当する場合は事前に担当まで申し出てください。**

【本学独自の入学料免除】

経済的理由により入学料の納入が困難であると認められる者

II 免除の額及び徴収猶予の期限

1 免除の額：入学料の全額又は半額

2 徴収猶予の期限：令和7年11月25日（火）まで

III 申請期間 **入学手続き期間と同じとする ※期間中以外は免除等の申請を受理しません。**

申請が受理されない場合には入学料を納入することとなりますが、入学料は入学手続き期間内に納入しなければ入学手続き完了とならず、「入学辞退」の取扱いとなりますので注意してください。また、免除等申請者が「入学手続き完了（免除等申請）後に入学を辞退」した場合は、「免除等申請を辞退」したものとみなされ、納入を猶予されていた入学料を納入することとなりますので注意してください。

IV 申請書類等

裏面記載の書類を一括して学生支援課学生支援係に提出してください。

※郵送可、期限必着

V 学業成績について

学業成績については、基準を満たしているものとみなします。

VI 免除者等の決定

免除者等の決定は令和7年10月下旬頃になります。（文書で通知。）

全額免除者以外については、「大学院博士後期課程学生奨学金」を申請することができます。希望する者は免除申請時に併せて、別紙「大学院博士後期課程学生奨学金申請書」を提出してください。

なお、免除者等の決定までの間は入学料の納入が猶予されますので、免除等の申請を行った場合は入学料を納入しないでください。誤って納入した場合であっても入学料の返還はできません。また、免除等の申請は無効となりますので注意してください。

全額が免除とならなかった者（「半額免除者」、「免除不許可者」、「免除不可者（基準非該当者）」）は、結果を通知した日（通知発送日）から14日以内に入学料を納入する必要がある、納入されなかった場合は、規程の定めにより「除籍」の対象となります。猶予申請した場合で猶予期限までに納入されなかった場合も同様の取扱いとなります。

【個人情報の保護について】申請時に提出していただいた情報は、入学料免除及び徴収猶予の選考に利用するものです。その他の目的には利用・提供いたしません。

【問い合わせ先】

申請書類に関して不明な点又は家庭の特殊事情がある場合には、申請前にあらかじめ下記まで問い合わせてください。また、書類の提出後であっても家庭状況に変化があった場合は早急に連絡をしてください。

北見工業大学 学生支援課 学生支援係

〒090-8507 北見市公園町165番地 TEL 0157-26-9183 FAX 0157-26-9185

申 請 書 類 等

1 申請者全員が必要とする書類（①～③全て）

① 入学料免除等申請書 （本学所定用紙）	・「申請書の書き方」を参考にもれなく記入してください。 ・現在来日している家族についてもれなく記入してください（来日していない者については記入不要です。）。
② 外国人留学生入学料・授業料免除申請添付書類（本学所定用紙）	
③ 結果通知用封筒	長 3 型の封筒に本人の住所・氏名を記入すること。（返信用切手は不要）

2 過去 1 年間に以下に該当する場合に提出を必要とする書類（すべて写しで可）

① 学資負担者が死亡の場合	死亡日が確認できるもの
② 風水害等	被災証明書，被害額を証明するもの（原則として 1 年以内の被災）

3 大学院博士後期課程学生奨学金を希望する場合に提出する書類 （免除書類と併せて提出してください）

① 北見工業大学大学院博士後期課程学生奨学金申請書	入学料が全額免除とならなかった者に対し，納付することとなった入学料相当額を上限として奨学金が支給されます。 （ただし，経済状況による）
② 振込口座登録票 （本学学生用）	大学院博士後期課程学生奨学金を初めて申請する方及び前回申請時より口座が変更となった方のみ提出してください。

入 学 料 (※免除 ・ 徴収猶予) 申 請 書

私費外国人留学生用

申請者	フリガナ 氏 名			※学科 プログラム 専攻		年	入学年度	令和	年度	
	アルファベット 表記						学籍番号			
	通学区分	※自宅・ 自宅外	前年度奨学金	名称： (※貸与・給付) 年額 円 貸与又は受給期間： 年 月 ～ 年 月	名称： (※貸与・給付) 年額 円 貸与又は受給期間： 年 月 ～ 年 月					
(同一生計の者について記入) 来日中の家族状況	就学者以外	続柄	氏 名	年齢	現在の職業 (全て記入)	在職期間 (全て記入)	勤務先 (全て記入)		賞与	
						年 ヶ月			有・無	
	就学者 (本人除く)	続柄	氏 名	年齢	学 校 名		学年	通学区分	前年度の授業料免除状況 (国立学校就学者のみ)	
					※国・公・私 立			※ 自宅・自宅外	※ 全 半 無 免 免 免	
					※国・公・私 立			※ 自宅・自宅外	※ 全 半 無 免 免 免	
					※国・公・私 立			※ 自宅・自宅外	※ 全 半 無 免 免 免	
	本人及び家族 (就学者を除く) の収入状況			本 人	父	母				持家の有無
		給与収入	給与・賃金・賞与・役員報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	有 ・ 無
			年金・恩給							
			失業給付金・生活保護ほか各種手当							
その他 ()										
小 計										
給与収入以外の所得		商・工・農・林・水産業							備 考	
		家賃・地代・利子・配当								
		援助・養育費								
		退職金・保険金・資産譲渡等の臨時的な所得								
	その他 ()									
		所 得 金 額 計								
判定 (大学記入欄)	特 別 控 除 (千円)				認 定 (千円)			免 除 結 果		
	A	(1) 母子・父子家庭			a 所 得 金 額 合 計			☐ 全 額 免 除		
		(2) 就学者 () () (高・高专) () (専修)			b 特 別 控 除 額					
		(3) 障害者・長期療養者			c 総所得金額 (a - b)			☐ 半 額 免 除		
		(4) 主たる家計支持者別居			d 収入基準額 (人)					
		(5) 災害			e 家計評価額 (c - d)			☐ 免 除 不 許 可		
		(6) 父母以外の所得								
	B	自宅・自宅外	2 8 0 ・ 7 2 0		家計評価額該当事項			☐ 免 除 不 可 (家計・学業)		
	計				免除該当 ・ 免除不可					

〈個人情報の利用目的〉 ご記入いただいた情報は、入学料免除の選考に利用するものです。その他の目的には利用提供いたしません

外国人留学生入学料・授業料免除申請添付書類

国 籍

学 科
プログラム
専 攻 第 学年

氏名（自署）

1. 本人及び配偶者の収入

(1) 本国からの援助、仕送り

	援 助 者 の 氏 名	関 係	援 助 額 (年 額)
本人 { 有・無 }			円
			円
配偶者 { 有・無 }			円
			円

(2) 奨 学 金

	団 体 名	支 給 期 間	支給額 (年額)
本人 前年度 { 有・無 } 今年度 { 有・無 }		年 月 日～ 年 月 日	円
		年 月 日～ 年 月 日	円
		年 月 日～ 年 月 日	円
配偶者 前年度 { 有・無 } 今年度 { 有・無 }		年 月 日～ 年 月 日	円
		年 月 日～ 年 月 日	円
		年 月 日～ 年 月 日	円

◎一括支給される奨学金も含まれます。

例) *北見工業大学学術振興・国際交流基金私費外国人留学生受入援助奨学金

*北見市外国人留学生修学支援金

(3) アルバイト、その他の収入 本人 { 有 ・ 無 }、配偶者 { 有 ・ 無 }

アルバイト収入がある場合は、源泉徴収票（雇用主発行）のコピーを添付してください。アルバイト期間が1年に満たない場合は直近3か月分の給与明細の写し又は裏面の給与支払（見込）証明書に雇用主の証明を受けて提出してください。

また、源泉徴収票がない場合についても、裏面の給与支払（見込）証明書に雇用主の証明を受けて提出してください（2か所以上の証明が必要な場合はコピーして使用してください）。

なお、その他の収入がある場合は、金額記載のその援助者（団体）の申立書又は、証明書を添付すること。

2. 個別担任・指導教員等の所見（家計、就学状況から免除が必要と認められる所見）

個 別 担 任

指 導 教 員 等

職 名

氏 名（自署）

給与支払（見込）証明書

氏 名 _____

住 所 _____

1. 就職年月日

_____ 年 _____ 月 _____ 日

2. 職 種 ※該当するものに○印

正社員 ・ その他（ _____ ）

3. 給 与 ※1年間の支給額（交通費を除く税込み額）について記入してください。

※勤務期間が1年未満の場合は、満たない分について見込額を記入してください。

支払年月	支払（見込）額	支払年月	支払（見込）額
年 月	円	年 月	円
年 月	円	年 月	円
年 月	円	年 月	円
年 月	円	年 月	円
年 月	円	年 月	円
年 月	円	年 月	円
合 計		円	

4. 賞 与 ※該当するものに○印

有（下記に金額を記入） ・ 無

賞 与（春）	円
賞 与（夏）	円
賞 与（冬）	円

上記のとおり支払った（見込みである）ことを証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

所 在 地 _____

給与支払者

（会社名）

印

申請書の書き方

- 申請時（前期分は4月1日、後期分は10月1日）現在で事実をありのままに、わかりやすく記入してください。記入すべきことが書かれていないとき、判読しにくいなど申請書に不備があるときは免除選考の対象から除外します。また、内容が故意に事実と相違して記入してある場合は、免除選考決定後でも決定を取り消します。
- 申請者は 枠内に記入し、※印のところは該当するものを○で囲んでください。
- 記入の際は、ペン又はボールペンを使用してください。訂正時には、訂正箇所を二重線で削除し（訂正印不要）、余白に正しい事項を記入してください。修正液は使わないでください。申請書裏面の連帯保証人欄以外はすべて学生本人が記入してください。
- 記入欄が足りない場合は、適宜、欄を分けて記入してください。

【申請者欄の記入】

- 「前年度奨学金」欄について、学部一年次は記入不要です。
- 「学籍番号」欄について、新生で学籍番号が未定の場合は記入不要です。

【家族状況欄の記入】

「家族」は同居・別居を問わず申請者と生計を一にする者全員を記入してください。生計を一にしない（独立生計の）兄弟姉妹や祖父母等の記入は不要です。

○就学者を除く家族

- 「現在の職業」は、会社員、公務員、自営業、農業、教員、アルバイト・パート等、職業名を記入してください。

○就学者

- 「就学者」とは次に在学する者です。

小・中・高校・高専

大学（大学院・専攻科・別科を含む。放送大学については、全科履修生・特修生に限る。）

盲・ろう・養護学校

専修学校（高等課程・専門課程）

（注）上記以外の専門学校一般課程及び各種学校等（予備校・職業訓練校・その他）に在学する人は、「就学者を除く家族」に記入してください。

- 「前年度の授業料免除状況」欄は、国立学校（大学、高等専門学校）就学者について記入してください。

表面

記入例（免除申請の場合）

授 業 料（※ 免除 ）・徴収猶予・月割分納）申 請 書													
一般学生用													
氏 名		北見 太郎		地球環境工		3 年		令和 5 年度		学籍番号 3232100000			
申請者	通学区分	※自宅 自宅外		①日本学生支援機構奨学金（給付・一種・二種） 該当する奨学金すべてに○印 （給付奨学金は前年度に限らず現在受給中であれば○印） 年額 6 1 2, 0 0 0 円		②左記以外の奨学金 （名称： ） （※貸与・給付） 年額 円							
	家族状況（同一生計）	続柄	氏 名	年齢	現在の職業（全て記入）	在職期間（全て記入）	勤務先（全て記入）		賞与				
別居者に ×印	主たる家計支持者に○印	父				年 ヶ月			有・無				
		母	北見 花子	4 7	自営業 パート	1 0 年 2 ヶ月 3 1 1	○○○美容室 ○○○スーパー		有 無				
		〈父又は母 死亡・生別の場合〉その年月（ 年 月）※理由（死別・離婚・行方不明・その他（ ）） ※遺族年金（有・ 無 ） 児童扶養手当（ 有 ・無） 養育費（ 有 ・無）											
		祖父	北見 工一郎	7 5	農業	4 0 6	自宅（年金受給者）		有 無				
		祖母	北見 雪子	7 3	無職		（年金受給者）		有 無				
就（本人除く） ×印	就学者を除く家族	続柄	氏 名	年齢	学 校 名		学年	通学区分	前年度の授業料免除状況 （国立学校就学者のみ）				
		前期	後期										
		兄	北見 一郎	2 2	国 立	○○大学		※自宅・ 自宅外	※全免 無	※半免 無	※全免 無	※半免 無	
		弟	北見 次郎	1 7	道 立	○○高校		※ 自宅 ・自宅外	※全免 無	※半免 無	※全免 無	※半免 無	
						立		※自宅・自宅外	※全免 無	※半免 無	※全免 無	※半免 無	
本人及び家族（就学者を除く）の収入状況	給与収入	本人	父	母	祖父	祖母	持家の有無						
		給与・賃金・賞与・役員報酬	1 2 0		1 0 0 0			有 ・無					
		年金・恩給			6 3 9	7 8 8							
		失業給付金・生活保護ほか各種手当											
		その他（ ）		4 9 3									
	給与収入以外の所得	小 計	1 2 0		1 4 9 3	6 3 9	7 8 8						
		給与所得											
		商・工・農・林・水産業		1 2 0	1 6 2	備 考							
		家賃・地代・利子・配当				←							
		援助・養育費		3 6 0		3 6 0は養育費							
判定（大学記入欄）	A	退職金・保険金・資産譲渡等の臨時的な所得											
		その他（ ）											
		小 計		4 8 0	1 6 2								
		所得金額計											
		特別控除（千円）	認定（千円）		免除結果								
A	(1)母子・父子家庭	a 所得金額合計		□ 全額免除									
	(2)就学者	b 特別控除額		□ 半額免除									
	(<u>小</u>) (<u>中</u>) (<u>高・高専</u>) (<u>大</u>) (<u>専修</u>)	c 総所得金額（a－b）		□ 免除不許可									
	(3)障害者・長期療養者	d 収入基準額（人全額）		□ 免除不可									
	(4)主たる家計支持者別居	e 家計評価額（c－d）		（家計・学業）									
	(5)災害	f 収入基準額（人半額）		徴収猶予等結果									
B	(6)父母以外の所得	g 家計評価額（c－f）		□ 徴収猶予許可									
	自宅・自宅外	2 8 0 ・ 7 2 0	家計評価額該当事項		□ 徴収猶予不許可								
	計		全額免除・半額免除・免除不可		□ 月割分納許可 □ 月割分納不許可								

……「収入状況」欄の記入上の注意……

- 令和6年1月～令和6年12月までの収入金額及び所得金額をすべて記入してください。（千円未満切り捨て）
- 同一人で2種以上の所得があるときは、区分して記入してください。
- 令和6年1月以降に就職・転職（開業等を含む）、又は雇用形態が変更（正規→非正規等）した場合は、上記1によらず、申請時現在の月収、賞与などを考慮のうえ、年間所得金額に見合った額を推算のうえ記入してください。

給与収入

- 給与収入は「源泉徴収票」の支払金額を記入してください。
- 年金については公的年金の源泉徴収票・年金振込通知書等の支払金額（介護保険料、後期高齢者医療制度の保険料額等を差引する前の金額）を記入してください。
- 同一人で2種以上の給与収入があるものは収入金額を合計したあと、千円未満を切り捨てて記入してください。

給与収入以外の所得

- 収入（売上）金額から必要経費を控除した所得金額を記入してください（マイナスとなる場合はゼロ「0」と記入）。なお、青色申告を行っている場合は、青色申告特別控除前の所得金額を記入してください。
- 商・工業所得は、個人事業主の場合に記入してください。
- 退職金、保険金、資産譲渡等の臨時的な所得は、申請前6ヶ月間（入学科免除に関しては1年間）のものを記入してください。
[前期]前年10月～今年3月、[後期]今年4月～9月

裏面

記入例（免除申請の場合）

申請理由

申請に至った家庭事情及びその他特に説明を要することを具体的に記入すること。

特別控除関係

障害者

氏名（北見 雪子）

手帳番号（0123456）

（2級）

障害年金受給

※（有・無）

長期療養者

氏名（ ）

病名（ ）

※（入院・通院・自宅療養）

期間（年 月 日から現在まで）

1年間の療養費（千円）

氏名（ ）

病名（ ）

※（入院・通院・自宅療養）

期間（年 月 日から現在まで）

1年間の療養費（千円）

主たる家計支持者別居

氏名（ ）

1年間の住居・水道光熱費（千円）

災害関係

被災年月日（年 月 日）

被災額（千円）

内容（ ）

の1平か月均月生あ活た費り

収入

家庭から

アルバイト（ ）

40,000円

奨学金

日本学生支援機構

50,000円

その他（名称： ）

円

その他から（ ）

円

計

100,000円

支出

修学費

10,000円

家賃

40,000円

食費

20,000円

水道光熱費・通信費

20,000円

その他

10,000円

計

100,000円

学業

① 前年度までの修得単位数（65単位）

② [学部4年次のみ]卒業研究（※着手・未着）

* 新入生は記入不要。ただし、学部1年次が後期に申請する場合は前期の修得単位を記入

以上のとおり

令和7年度前期分授業料を[※免除・徴収猶予・月割分納]してくださるよう連帯保証人連署のうえ、必要書類を添えて申請します。
また、免除（徴収猶予・月割分納）結果が決定するまでの間、授業料の納入を猶予してくださるよう併せてお願いします。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北見工業大学長 殿

申請者

氏名

北見 太郎

現住所

〒090-0000
北見市〇〇町〇〇-〇〇

携帯電話等

090（0000）0000

連帯保証人

氏名

北見 花子

現住所

〒123-0000
〇〇市〇〇町〇〇番地

電話番号

090（0000）0000

枠内に記入し、※印のところは該当するものを○で囲むこと。
＜個人情報利用目的＞ ご記入いただいた情報は、授業料免除の選考に利用するものです。その他の目的には利用提供いたしません。

申請に至った家庭事情、経緯について具体的に記入してください。（経済的な収入が無い、又はごくわずかな場合の生活の方法、就学者以外の兄弟等が無職の場合その理由等）申請書の他の欄で記載できなかったことを記入してください。

【1か月あたりの平均生活費】
※学費（入学科・授業料）は除く
ア. 最近の平均（新入生は見込）で記入してください。
イ. 収入のうち一部を授業料等のため積立てているときは、支出欄の「修学費」に記入してください。
ウ. 自宅通学者の食費・住居費は記入しないでください。ただし、昼食はその月額をその他に記入してください。自宅外通学者で食費、住居費を一括して下宿代として納めている場合は（ ）書きで家賃に記入してください。
エ. 収入金額の合計と支出金額の合計は同額にしてください。

申請日を記入

連帯保証人が記入
※連帯保証人欄以外は申請者本人が記入

封筒[長型3号]

123-0000

北見花子殿

〇〇市〇〇町〇〇番地

連帯保証人住所氏名

3232100000
北見太郎

*返信用封筒（切手不要）には必ず連帯保証人（父母等）の住所・氏名を記入して提出すること。
郵便番号も忘れずに記入してください。
（留学生については本人の住所・氏名を記入してください。）
左余白に学籍番号・氏名を記入して下さい。

私費外国人留学生及び社会人学生は、申請書の様式が若干異なっていますので、記入の際、不明な点がある場合は、担当へ問い合わせてください。

[担当] 北見工業大学学生支援課
学生支援係
〒090-8507 北見市公園町165番地
Tel:0157-26-9183 Fax:0157-26-9185